

---

鉱山研究会 (Japan Mine Research Society)

## ニューズレター No. 120

2023年 5月 15日

---

### 第52回 鉱山の映像を観る会と総会の案内

3年以上休会にしていた、映像の会と総会を同時開催します。

映像の会で上映を予定しているのは、①『赤平の石炭』と②『羽幌炭砒大同窓会～鈴木商店を期限に炭砒を振り返る』。こちらは2015年 羽幌閉山45年を記念して羽幌町で開かれた大会です。旧鈴木商店の流れを組む双日も協賛しております。

【日時】2023年6月3(土) 開場 13:00 上映 13:30～15:50 総会 閉会 16:50

【会場】東京都銀座区民館 中央区銀座4-13-17 ☎03-3542-6828 地図 最終頁)

【会費】無料、寄付は歓迎します。金額は決まっています。

#### 【時刻表】

13:30～14:50 ①「羽幌炭砒大同窓会」制作・羽幌カラー現像所 上映時間 80分、付録映像 16分 制作 2015年

14:50～15:00 休憩

15:00～15:16 ①の付録映像

15:20～15:50 ②「赤平の石炭」制作・赤平写真映像資料収集会 制作 2018年 上映時間 27分

【総会】16:00～16:50

【ウェブサイト】 <http://jmrs.org/>

【連絡先】村田淳 e-mail : [sunao-murata@asahinet.jp](mailto:sunao-murata@asahinet.jp) Phone:045-401-5259

### 2022年度経過報告

■行事回数 ①年次大会・例会 延期 ②見学会・巡検 延期 ③映像の会・延期  
④海外文献の会 延期

■刊行回数 ①『鉱山研究』97号発行(2021年度)、98号 2023年6月中発行予定  
1回

②『ニューズレター』No. 118, 119, 120 (3回)、号外(8回)

## 2022年

5月15日(日) Otis E Young Jr. (仮訳) アメリカフロンティア時代の鉱山 (はしがき目次) 郵送会員には後日送付6月?日

5月31日(火) 『鉱山研究』97号発行

6月1日(水) 『鉱山研究』97号発送(22年度会費請求、郵送会員後日NLと同時)

6月13日(月) Otis E Young Jr. (仮訳) アメリカフロンティア時代の鉱山(第1章鉱物鉱床と探鉱の方法) 『ニューズ・レター』No. 119に同封

6月13日(月) 『ニューズ・レター』No. 119(2021年経過と22年予定、22年度運営方針ほか、添付2021年度会計報告ほか、付録郵送会員に仮訳①Paul, ②Young同封)

6月23日~26日 アメリカ鉱山史協会年次大会 Birmingham, Alabama

6月28日(火) James Harris レクチャー 早稲田大学 村田淳聴講

8月25日(木) 『鉱山研究』98号原稿募集、『鉱山研究』100号原稿募集  
29日郵送

9月18日~25日 オーストラリアン(Australasian)鉱山史協会年次大会、Burra, South Australia 不参加

11月22日(火) Otis E Young Jr. (仮訳) アメリカフロンティア時代の鉱山、第3回配付、25日(金)郵送

12月16日(金) 『鉱山研究』98号原稿締切

## 2023年

1月8日(日) 『ニューズ・レター』臨時号 HP(さくらネット) 撤退表明

1月11日(水) 日本鉱山年表配付案内、(後日撤回)

1月28日(火) 『鉱山研究』98号進行状況、HPの移転

4月4日(火) 新HP開設、フェイスブックに鉱山研究会のグループ創設

## 2023年度活動運営案

①会員数の減少。会員の高齢化もあり、会費の3年以上の滞納者の会員資格停止により会員数が減少しましたが、2名の入会がありました。現在25件で昨年度より2件減少しました。財政安定のためには35件の会員数が必要です。入会の勧誘をお願いします。

②研究98号の発行は前年度の残金と今年度の会費でまかなえる予定です。99号は今のところは財政上可能ですが、100号の総頁数しだいで、それ以降はの発行

については未確定です。

## 検討事項

- (1) 会員数の増加に努める。学生・大学院生は割引会費を維持する。  
今年度年初め、3年以上会費を滞納している会員は退会あつかいとする措置を今後も実行します。
  - ① 郵送費の削減のために、『ニューズレター』や臨時号の案内をメール配信にします。ただしメールを利用していない会員や印刷物を希望する場合は郵送を維持する。  
また『鉾山研究』の贈呈は図書館や友好関係にある機関のみにする。
  - ② 合宿・見学会・巡検などは、従来どおり経費を参加人数割にして、その時点で精算する。
  - ③ 例会・映像の会など会場費を必要とする場合は寄付をつのる。
- (2) 各行事ともに参加者が少なく、企画内容に工夫が必要。
- (3) 例会や大会での報告者が少ないので、会員か否かを問わず、報告できるひとを積極的に探す。報告した人には入会を促す。
- (4) 合宿、巡検や見学会は、会員の希望を受けて、それに従って見学地を選定する。  
鉾山遺跡は存在そのものが所在不明になりつつあります。今後はほとんどの鉾山遺跡は、現在の時点をのがすと見学できなくなります。積極的に見学を行いましょう。
- (5) 各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
- (6) 『鉾山研究』には、大会や例会での報告をできるだけ掲載する。また非会員の原稿も掲載し、その後入会を促す。
- (7) 『鉾山研究』の100号は記念号にする企画をたてる。

## 2023年度と今後の予定

■行事回数 ①年次大会・例会3回(195、196、197)(合計4回) ②見学会・巡検2回 ③映像の会3回 ④海外文献の会5回

■刊行回数 ①『鉾山研究』99号 2024年3月18日発行 1回

②『ニューズレター』No.121、123、124、125、号外(随時)

### 2023年

6月3日(土)2023年度総会、第52回映像の会

6月8日(木)～11日(日)MHA Socorro, NM

6月中 『鉾山研究』98号発行・発送

日程未定 例会第195回～、

日程未定 映像の会 第53回～

日程未定 海外文献の会

日程未定 Irving社の探鉱事業現場見学（北海道雄武町）、鴻之舞鉱山資料館

10月15日～22日 AMHC Reefton, NZ (WC)

## 2024年

6月5日（火）～9日（金）MHA、Park City、Uta

3月19日（火）『鉱山研究』99号発行・発送

## 2025年

3月中旬 『鉱山研究』100号発行・発送

★ご提案やご意見を村田淳までお寄せください

なお会計報告は会員のみに貼付します。

## 『鉱山研究』99号と100号の企画と原稿募集

現在の時点で、2件の投稿の申し出がありました。

とくに100号はなるべく早くから準備したいので、投稿の申し出と、なにか企画をおもちのかたは連絡をください。

### 98号発行の遅延のお詫び

発行が遅れています。村田淳の投稿の遅れが原因です。勝手にいって申しわけありませんが、もうしばらくのご容赦をお願いします。6月中には発行・発送します。

### 日本鉱山年表の配布（会員の希望者）

半年ほど前に、フェイスブック上で配布の案内をしましたが撤回しました。村田淳の個人的な興味から項目をたてております。会員のなかで希望者にはば配付します。ただしエクセルの頁数が多いので配布可能かどうか不明です。

### HPの転居

従来のさくらネットのHPを閉鎖し、新しいウェブサイト <http://jmrs.org/> を立ち上げました。「鉱山研究会」のウェブサイトあるいは「フェイスブック」から検索すれば、閲覧可能です。またFBの「鉱山研究会グループ」もできましたので、登録していただければ案内は自動的に送られるはずです。

## 銀座区民館地図

地下鉄日比谷線 東銀座駅 3番&5番出口徒歩3分

都営浅草線 東銀座駅 A7出口徒歩3分

江戸バス 東銀座駅停留所（土、日、祝日のみ）

